

- 校務分掌部の反省
  - ・ 学期ごと
  - ・ 年度ごと
- 児童生徒の実態
  - ・ 各種検査の結果
  - ・ 日常の様子
- 保護者・地域の意見
- その他

令和5(2023)年度  
日向市立東郷学園・坪谷小学校  
小中一貫教育グランドデザイン

- 学校評価
- アンケートの結果
    - ・ 児童生徒
    - ・ 保護者
  - 学校の自己評価・改善策
  - 学校運営協議会委員の意見

目 標	知 (進路学習部)	徳 (生徒指導部)	体 (保体安全部)	地域 (教務研究部)
	■ 学習指導や読書の推進を通して、読む力と豊かな心を育てます。	■ 自己有用感をもった児童生徒を育てます。	■ 心身の健康の保持増進ができる児童生徒を育てます。	■ 家庭・地域と目標を共有し、郷育を推進します。
具 体的 取 組	1 読書の習慣化を図り、自分の考えをわかりやすく伝える力を育てます。 ① 朝読書の取組 (1～8年) ② 毎日読書の推進 ③ 読書通帳の活用  2 家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぶ力を育てます。 ④ 学習の見届け ⑤ 「みんなく」(みんなで宅習を見守ろう)の取組  3 学習訓練の徹底を図り、学ぶ姿勢を育てます。 ⑥ 「学習の約束」の徹底 (1分前着席・返事・立腰)	1 身なりを整え、あいさつができ、無言清掃を行う児童生徒を育てます。 ① 児童生徒自身で身なりを整える習慣の整備 ② 先取りあいさつ運動の励行 ③ 清掃活動を通したきれいな学校づくりの推進  2 時間を大切にする児童生徒を育てます。 ④ 学校生活における開始時刻の意識の徹底	1 体力向上に関する取組や食育を通してたくましい体づくりに努める児童生徒を育てます。 ① スクールスポーツプランの作成・実践 ② 食に関する指導全体計画の実践  2 「早寝・早起き・朝ご飯」や「メディアコントロール」などの生活リズムを整え、健康の増進に努める児童生徒を育てます。 ③ 健康カレンダーの作成・実践 ④ 家庭と連携したメディアコントロールの取組	1 地域と連携しながら、あいさつ運動・安全教育を実施します。 ① まちづくり協議会と連携したあいさつ標語作成 ② いのちの教育週間、人権週間、若竹集会を活用したいのちを大切にする取組  2 地域の素材・人材を生かした体験活動及びキャリア教育を実施します。 ③ 生活科や総合的な学習の時間を中心とした積極的な体験活動の実施 ④ 出前授業・よのなか教室の実施
結 果	① 朝読書は月・金曜日の朝に実施できている。小学部では金曜日に読み聞かせを実施しており、昨年度より多くできた。 ② 毎日読書は、特に上学年は難しい。毎日ではなく、月に一回家庭で読む時間を設定してはどうか。 ③ 読書通帳の取組により、下学年を中心に進んで読書をするようになってきた。 ④ 家庭によって差がある。また、アンケートの結果から上の学年になるほど見届けるのが難しくなるようである。 ⑤ 11月に実施した。様々な職員で見ることが、児童生徒にとって励みになっている。2月にも実施する。 ⑥ 学習の約束の中で、特に1分前着席・返事・立腰を重点的取組んだ結果、定着が図られている。	① 令和4年度に児童生徒会を中心に設定した服装等規定をしっかりと遵守している。 ② 日頃の挨拶については、中学部を中心に改善されており、アンケートの数値も向上している。 ③ 無言清掃や気付きの清掃など、生徒指導部が提案している清掃活動ができている。 ④ 早めに登校する児童生徒が多い。授業前1分前着席及び清掃活動への取りかかりもできており、時間を意識して行動している。	① スクールスポーツプランを作成し、体力向上に関する目標を設定して取り組んだが、コロナ禍後ということもあり、児童生徒の体力低下が見られる。 ② 食に関する年間指導計画を基に、市学校給食センターの栄養教諭と連携して指導することができた。 ③ 長期休業では健康カレンダーを作成することで、児童生徒が意識して生活リズムを整える機会とした。 ④ 年4回取り組んだが、家庭での差が見られた。メディアコントロールが児童生徒のメディアに対する意識の向上につながっているかについては、把握できていない。	① 児童生徒が挨拶の大切さについて考えるよい機会となっている。1年生は親子で取り組んだことで、家庭での意識付けにもつながった。 ② 交通教室では、地域ボランティアの方にも参加していただいた。若竹集会では、警察の方に来ていただいたことで、命について考える機会となった。 ③ コロナ禍も明け、地域の施設や人材を活用した体験活動を実施することができた。地域の方に来ていただいた際、キャリア教育につながる講話をしてもらった。 ④ どの学年でも昨年度以上に実践することができた。特に7年生では、日向市社会福祉協議会の方の支援のおかげで、充実した学習となった。
改 善 策	② 月一読書として、家庭で読書をする時間を意図的に設定し、学校だけでなく、家庭でも読書に親しむようにする。 ④ ④の項目を「家庭学習の見届け」ではなく、「家庭学習の手引きの活用」とし、家庭学習の手引きに書かれた内容の定着を目指すようにする。なお、家庭学習の見届けについては、今後も呼びかける。	② 先取りあいさつを重点的に指導することで、自ら率先して挨拶することができる児童生徒を育成する。	① 体力テストの結果を踏まえ、保護者に児童生徒の体力の状況を周知していくなど、学校と家庭が連携して取り組んでいく。  ④ メディアコントロールを実施する前にアンケートを実施することで、児童生徒のメディアに対する実態を把握し、改善へとつながるようにする。	② 若竹集会については、碑の定期的な清掃活動を通して、碑の意味を理解するとともに、命の大切さに関する意識を高めるようにする。若竹集会は、意識の高揚と実践力の向上に向けた講話を隔年で企画する。(令和5年度は警察の方に来てもらい、実践力の向上につながる講話を実施した。)
	①③⑤⑥ 一定の成果が見られる。今後とも取組を継続していく。	①③④ 一定の成果が見られる。今後とも取組を継続していく。	②③ 一定の成果が見られる。今後とも取組を継続していく。	①③④ 一定の成果が見られる。今後とも取組を継続していく。

評価	A	(B)	C	A	(B)	C	A	(B)	C	(A)	B	C
	(A:1 B:5 C:0)			(A:3 B:3 C:0)			(A:3 B:2 C:1)			(A:5 B:1 C:0)		
学校運営協議会委員より	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的に本内容及び冊数を明確にしてみたらどうか。例えば1冊読まなくてもどこまで読んだかを！※上学年は大変だと思うが</li> <li>図書室の利用度、活用の頻度が知りたいです。東郷公民館（さくら館）にも図書がありますが、私もなかなか利用していません。何か調べたいことも、今は気軽にスマホで検索できる環境もあります。また、中学生の視力低下も何か関連づけられるのかも。見えづらくなると読むのが苦手になります。</li> <li>読書通帳の取組により、結果が上がっているようですので、続けてほしい。</li> <li>学校内での読書は定着している。家庭内でも読書を推進するため、校内読書感想コンクールを実施して表彰すると、さらに読書への関心が高まるのでは！</li> <li>読書は、低学年は評価が高いので、習慣化への期待がもてる。高学年になるにつれて評価が低くなるのは、その時の興味関心事への変化と、中学部については部活動や受験等が影響しているのではと思う。続けて取り組んでほしい。</li> <li>「自分の考えを伝える力」に対する保護者の評価が低くなるのは、家での子どもの様子も影響しているのではと考える。特に高学年は親と話したくないと思う時期でもあるので、なかなか自分の思いなど言わないし、引き出せないのでは？</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の指導が実を結びつつある。※指導内容がはっきりしている。</li> <li>登校時間が遅くなる児童生徒も見られ、気にはなりますが、登校できているので、頑張っているのだと感じます。</li> <li>挨拶においては、個人差があり、登校班によって大きな声で挨拶する班と、あまりできない班があるように見える。</li> <li>中学部の生徒は、自分から先に挨拶することが定着してきている。小学部の児童は、先に挨拶することはほとんどなく、どちらから挨拶しても、下を向いている児童が多い。</li> <li>地域に子どもの声は聞こえないが、他地域の子もたちが通る時は、しっかり挨拶してくれる。以前よりは評価できる。</li> <li>無言清掃を見ていると、一生懸命取り組んでいると感じた。きれいな学校作りに成果が出ている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者側がもう少し子どものことを考え、個別でもよいから各家庭で工夫してみたらどうか？</li> <li>体力低下について。今は園児からスポーツ教室からの先生を派遣し、プログラムを提供している実態もあります。体を動かす大切さを保護者にも伝えていく必要ができたのではないかと実感しています。※家庭でできる体力作り等</li> <li>現状のまま続けてほしい。</li> <li>登下校のあり方の規定は難しいと思うが、車での送迎が増加している。体力の保持増進からもできるだけ徒歩通学を進めてほしい。</li> <li>体については、児童生徒、保護者、先生方の評価も高く、目標に近い成果だと思う。9年生の評価が低くなっているのは、その学年の特性でしょう。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>若竹集会は、もう何年になるんですかね。中々時間がとれないと思うが、事あるごとに「命」について講話等で実施してほしい。1～9年での合同は難しいと思うので分けて実施を。</li> <li>福祉教育を生徒たちとともに学ばせていただきました。生徒のアイデアや提案を知ること、改めて専門職の考え方についても見直す機会となりました。継続することが大事だと思います。7年が8年になってできること、チャレンジすること、次のステップとなるよう、地域住民として協力していきます。</li> <li>中学生の地域行事への参加を工夫したいと考えています。（伝承ごとへの参加等）</li> <li>今までコロナ禍の中で地域での活動ができなかったが、今年地域での行事等も行われ、積極的に取り組む姿が見受けられた。（区の運動会、祭りなど）</li> <li>挨拶運動の標語作成は、家庭内で挨拶に取り組みきっかけになってほしい。</li> <li>9年生のよのなか授業は、自分が町を離れたときにふるさとに対して何ができるかを考えさせる授業で、人口減少が避けられない中で、東郷の町への関係人口の増加につながる授業だと思う。今後も続けていただきたい。</li> <li>郷育に対しては、小学部・中学部とも先進的な取組が行われている。</li> <li>地域に子どもたちがいない。交流できる場があるといいのかなあと思う。</li> <li>東郷まちづくり協議会と連携しての取組は評価できる。</li> </ul>		

今後の具体的な取組	<p>1 読書の習慣化を図り、自分の考えをわかりやすく伝える力を育てます。</p> <p>① 朝読書の取組（1～8年）</p> <p>② <b>月一読書の日の推進</b></p> <p>③ 読書通帳の活用</p> <p>2 家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぶ力を育てます。</p> <p>④ <b>家庭学習の手引きの活用</b></p> <p>⑤ 「みんなく」（みんなで宅習を見守ろう）の取組</p> <p>3 学習訓練の徹底を図り、学ぶ姿勢を育てます。</p> <p>⑥ 「学習の約束」の徹底（1分前着席・返事・立腰）</p>	<p>1 身なりを整え、あいさつができ、無言清掃を行う児童生徒を育てます。</p> <p>① 児童生徒自身で身なりを整える習慣の整備</p> <p>② 先取りあいさつ運動の<b>さらなる</b>励行</p> <p>③ 清掃活動を通したきれいな学校づくりの推進</p> <p>2 時間を大切にする児童生徒を育てます。</p> <p>④ 学校生活における開始時刻の意識の徹底</p>	<p>1 体力向上に関する取組や食育を通したたくましい体づくりに務める児童生徒を育てます。</p> <p>① <b>体力テストの結果の周知</b>及びスクールスポーツプランの作成・実践</p> <p>② 食に関する指導全体計画の実践</p> <p>2 「早寝・早起き・朝ご飯」や「メディアコントロール」などの生活リズムを整え、健康の増進に努める児童生徒を育てます。</p> <p>③ 健康カレンダーの作成・実践</p> <p>④ <b>メディアに関する児童生徒の実態把握</b>及び家庭と連携したメディアコントロールの取組</p>	<p>1 地域と連携しながら、あいさつ運動・安全教育を実施します。</p> <p>① まちづくり協議会と連携したあいさつ標語作成</p> <p>② いのちの教育週間、人権週間、若竹集会等を活用したいのちを大切に取る取組</p> <p>2 地域の素材・人材を生かした体験活動及びキャリア教育を実施します。</p> <p>③ 生活科や総合的な学習の時間を中心とした積極的な体験活動の実施</p> <p>④ 出前授業・よのなか教室の実施</p>
-----------	---	---	---	---